

救急看護認定看護師

全ての人々の命と安全を守るための仕事



救急看護の対象は全ての人たち

「救急看護」と聞くと、テレビドラマに出てくる救急外来での蘇生場面をイメージする人が多いのではないのでしょうか。しかし実際はそれだけではありません。突然事故にあったり急に具合が悪くなったりして救急外来を受診する方だけでなく、院内で突然転んでしまったり急に具合が悪くなったりした入院患者さんも救急看護を必要とします。救急看護は「いつでもどこでも誰にでも」、迅速かつ適確な看護を提供することが求められています。一方で、夜間休日の救急外来では緊急性の低い「コンビニ受診※」が増加しており、混雑する待合室で緊急度の高い患者さんが埋もれてしまう危険があります。そういった状況において全ての患者さんが安全に適切な診療を受けられるよう、救急外来では院内トリアージを行い患者さんの緊急度・重症度を判断して対応しています。患者さんの待ち時間にも影響する重要な判断であり、責任と重圧が伴う業務ですが、救急看護ならではの迅速かつ適確なフィジカルアセスメントと臨床推論を発揮できる場面でもあります。

※仕事などの私的な都合で平日昼間の一般外来を受診できないことを理由に、軽症患者が時間外診療として救急外来を受診すること

組織のニーズとマッチさせた幅広い活動

救急看護認定看護師は、救命技術や重症患者管理はもちろん、突然の発症により危機的状況にある患者さんとその家族への精神的ケアまで、幅広い救急看護領域の知識や技術に熟達し、的確な判断に基づいた確実な看護実践や救命技術指導を行います。当院では、救命救急センターで3名の救急看護認定看護師が活動しています。現場での高度な実践を通してスタッフのロールモデルになることはもちろん、組織のニーズと救急看護認定看護師としての現状分析を統合し、院内外におけるBLSや急変対応の指導・相談、院内急変対応システムの構築、院内トリアージの質向上のための事後検証、東京DMAT出動態勢整備などを担っています。活動の幅が広い分、通常業務との両立が悩みの種ですが、臨床での実践も大切にしながら活動しています。

主なお仕事

- | | |
|--------------|---|
| 急変対応指導 | 看護師はもちろん、コメディカルやレク罗斯の介護スタッフ、近隣住民の方にBLS指導を行っています。また、各病棟における急変時の看護勉強会に関する相談を受け、お手伝いしています。 |
| 院内急変対応システム構築 | コードQQやラピットコールの現場に医師とともに急行し対応するとともに、症例を事後検証してより良い急変対応システムを構築しています。 |
| 気付き能力の向上 | 患者を急変させないために、急変の兆候に気づく能力を育成する研修を行っています。 |
| 院内トリアージ事後検証 | 院内トリアージを集計・検証し、トリアージの質向上に向けた指導につなげています。 |
| 東京DMAT | 東京DMAT出動のための態勢整備や資器材管理を行います |
| ドクターカー | 病院外からの要請に対応し、地域貢献するための運行を開始しています。 |



院内だけでなく
地域の皆様の命を守るため
幅広く活動しています

